

脱炭素等に関する取組紹介

更新日 令和8年1月22日

| | |
|-------------|--|
| <p>団体名</p> | <p>千葉都市モノレール株式会社</p> |
| <p>取組内容</p> | <p>1. 運行・車両における省エネ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型車両（0形「アーバン・フライヤー」）への更新：高い省エネ性能を持つ新型車両への置き換えを進めています。VVVFインバータ制御により、旧型に比べ消費電力を削減しています。 ・回生電力貯蔵装置の運用：2022年度より殿台変電所にて本格運用を開始。電車がブレーキをかけた際に発生する「回生電力」を蓄電池に貯め、他の電車の加速時に再利用することで、電力の効率的運用をおこなっております。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="488 801 858 1048" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="890 790 1417 1055" data-label="Diagram"> </div> </div> <p style="text-align: center;">0形「アーバンフライヤー」</p> <p style="text-align: center;">回生電力貯蔵装置のイメージ</p> <p>2. 非化石証書を活用した再エネ導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー由来の環境価値を付加した電力を積極的に採用しております。 <p>3. 設備における脱炭素</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅舎ソーラーパネルについて、千葉公園駅をモデル駅として、駅舎屋根への太陽光発電設備の設置検討や導入を進めています。 ・全18駅のホーム・コンコース照明についてはLED化を完了しており、消費電力の削減に寄与しております。 ・駅舎内の空調設備を、更新時期に合わせて高効率な機種へリプレースしています。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="1123 1151 1385 1496" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1123 1496 1385 1688" data-label="Image"> </div> </div> <p style="text-align: center;">千葉公園駅の太陽光パネルとコンコースに設置されたモニター</p> <p>4. 社会的な脱炭素への貢献（その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宅配便の再配達によるトラックの排ガスを減らすため、駅舎内に宅配ボックスを設置しています。 ・公共交通の利用促進を促すため、モノレール祭り（車両基地公開イベント）や地域のイベントにおけるPR活動等を実施しています。 |